

台湾のエネルギー事情及び低炭素社会の取り組み

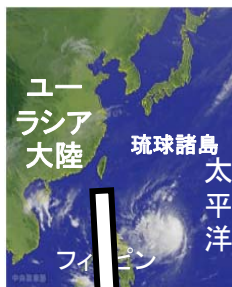
洪 儒生

台北駐日経済文化代表処

科学技術部

1

基礎データ



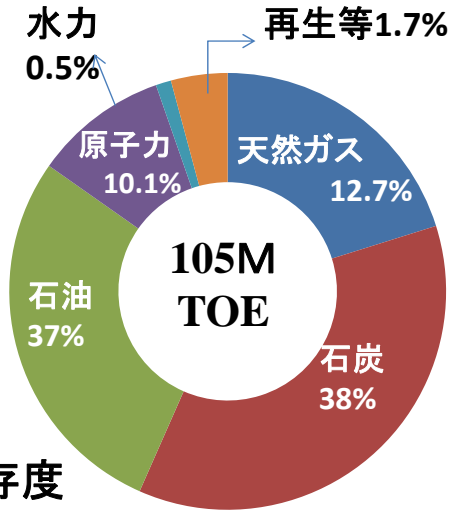
- 人口：約2300万人
- 面積：35,980 m²（日本の1/10）
70%が山岳地
- 人口密度：670人/km²（日本の約2倍）
- 産業：電子、電気機器、化学品などの輸出型（GDPの7割）
- 1人当たりGDP：22k\$
- GDP年成長率：2~3%
(2011~2015)

2

台湾のエネルギー使用状況-1

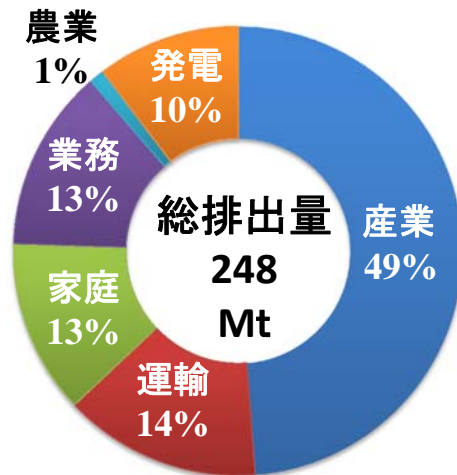
- 世界CO₂排出量:0.8%、世界の24位(日本3.8%, 韓国1.8%)
- 一人当り年間CO₂排出量:10.6t(日本9.6t, 韓国11.5t)
- 一次エネルギー消費量は日本の約1/4、化石燃料への依存度:88%
- 産業部門からCO₂排出量は全体の50%

一次エネルギー源



輸入依存度
97.2%

部門別CO₂排出量割合

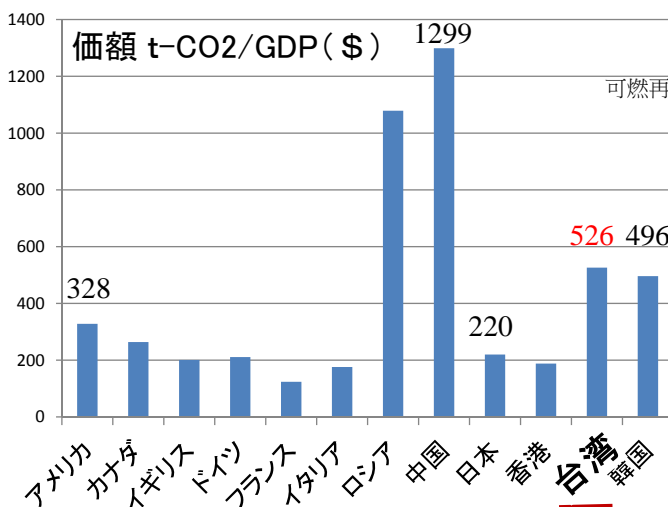


3

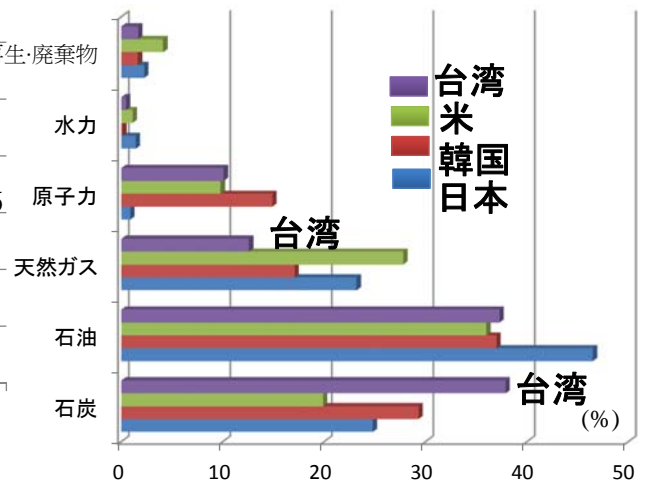
台湾のエネルギー使用状況-2

GDP当りCO₂排出量

(2012)



一次エネルギー消費構成の割合 - 各国の比較



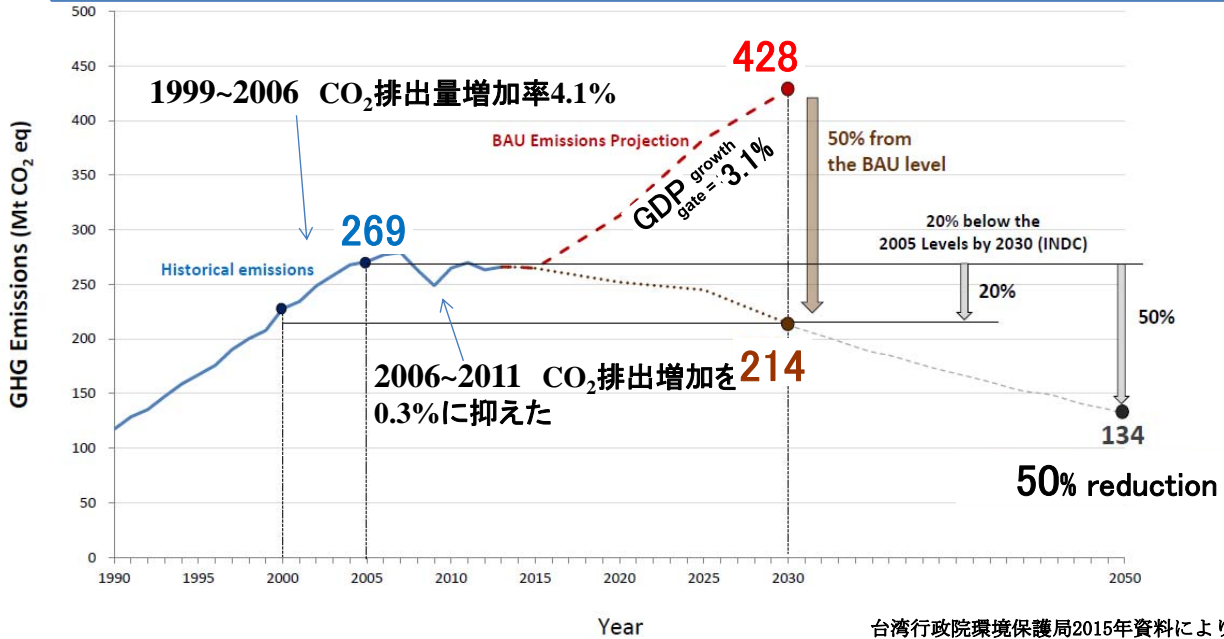
原因:

1. エネルギー多消費産業(石油化学、機械、鋼鉄、セメントなど GDP貢献度が低い)の比率が高い
2. 高炭素エネルギー源(石炭及び石油)の多使用

4

温室効果ガス削減への取り組み

- 「温室効果ガス削減量および管理法」を立法化し、自主的約束草案を提出(2015.9)
- 削減目標: 1. 2030年のCO₂排出量を2005年より20%削減
2. 2050年まで2005年より50%削減を約束



5

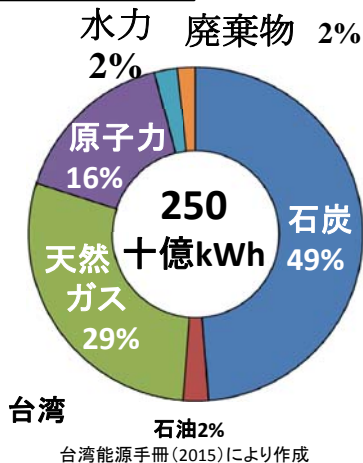
今後の低炭素社会に向けた課題

再生可能エネルギーの目標:電力供給

(財) 中華経済研究院2015年資料

国別	2014年の現状		2030年の目標	
	再生可能エネの比率 (%)	水力除く再生可能エネ (%)	再生可能エネの比率 (%)	水力除く再生可能エネ (%)
台湾	3.8	1.9	14.5	11.7
日本	15.3	7.3	22~24	13.4~15.4
米	13.2	7.1	21	12.7

発電供給の構成



- 石炭の代替に天然ガス増加
- 再生可能エネルギー(太陽光、風力、地熱)を積極的に導入
- 省エネ政策及び技術: 電力市場の自由化、エネルギー税(炭素税)の導入、火力発電の高効率化など
- 原子力発電の選択を考慮した上、エネルギー構成を最適化する

6